

平成22年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年9月3日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション
 コード番号 7605 URL <http://www.fujicorporation.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 文樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部长 (氏名) 多賀 睦実

TEL 022-348-3300

四半期報告書提出予定日 平成22年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年10月期第3四半期の業績(平成21年11月1日～平成22年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第3四半期	10,884	12.1	834	47.6	863	54.0	465	51.7
21年10月期第3四半期	9,709	0.4	565	△16.2	560	△16.8	306	△21.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第3四半期	99.04	—
21年10月期第3四半期	65.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第3四半期	7,015	3,666	52.3	779.85
21年10月期	6,941	3,269	47.1	695.33

(参考) 自己資本 22年10月期第3四半期 3,666百万円 21年10月期 3,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	—	—	12.00	12.00
22年10月期	—	0.00	—	—	—
22年10月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年10月期の業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	3.6	570	2.1	573	2.8	312	2.2	66.36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年10月期3Q 4,840,000株 21年10月期 4,840,000株

② 期末自己株式数 22年10月期3Q 137,917株 21年10月期 137,917株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年10月期3Q 4,702,083株 21年10月期3Q 4,702,083株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
【第3四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国の経済は、各種政策効果などを背景に、企業収益の改善が見られ、景気の自律的回復への基盤が整いつつあるものの、アメリカ・欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在しており、依然予断を許さない状況であります。

このような状況のもと、自動車関連業界においては、エコカー減税等により新車販売台数が前年を上回るなど、消費者マインドには改善の動きが見られました。当社におきましても、新店効果や消費者の「節約疲れ」の影響と思われる売上増により、店舗売上、通販売上及び業販売上がともに好調に推移しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は10,884百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は834百万円（前年同期比47.6%増）、経常利益は863百万円（前年同期比54.0%増）、四半期純利益は465百万円（前年同期比51.7%増）と増収増益となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤは5,613百万円（前年同期比13.6%増）、ホイールは3,974百万円（前年同期比8.0%増）、用品は566百万円（前年同期比28.5%増）、作業料は730百万円（前年同期比13.1%増）となりました。また、経路別売上高の状況は、店舗売上高は6,503百万円（前年同期比8.8%増）、通販売上高は2,931百万円（前年同期比8.7%増）、業販売上高は1,449百万円（前年同期比39.8%増）となっております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ74百万円増加の7,015百万円となりました。また、負債は前事業年度末に比べ322百万円減少の3,348百万円、純資産は前事業年度末に比べ397百万円増加の3,666百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ187百万円増加の599百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、898百万円となりました。（前年同期は125百万円の使用）

これは主に、税引前四半期純利益856百万円、売上債権の減少額99百万円、たな卸資産の減少額139百万円、法人税の支払額229百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、320百万円となりました。（前年同期は23百万円の使用）

これは主に、有形固定資産の取得による支出278百万円、建設協力金の支払による支出58百万円などによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、390百万円となりました。（前年同期は154百万円の獲得）

これは主に、長期借入金の返済による支出321百万円、配当金の支払額57百万円などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における売上高及び利益は、ともに当初予想を上回る推移をいたしました。

今後の業績見通しにつきましては、景気を下押しするリスクや、雇用情勢の悪化懸念が未だ残っていることから、現時点におきましては、平成22年6月4日に公表しました「平成22年10月期第2四半期決算短信（非連結）」通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

②税金費用の算出方法

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「建設協力金の支払による支出」及び「敷金の差入による支出」は重要性が増加したため、当第3四半期累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「建設協力金の支払による支出」は△10,000千円であり、「敷金の差入による支出」は△5,000千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	603,194	416,572
売掛金	441,027	545,741
商品	1,911,627	2,051,109
未収入金	132,471	323,465
その他	187,849	140,073
貸倒引当金	△87	—
流動資産合計	3,276,083	3,476,962
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,186,926	1,052,690
減価償却累計額	△415,041	△386,429
建物(純額)	771,885	666,261
土地	1,499,448	1,499,448
その他	1,266,504	1,079,289
減価償却累計額	△737,426	△688,758
その他(純額)	529,077	390,531
有形固定資産合計	2,800,411	2,556,241
無形固定資産	67,335	78,604
投資その他の資産		
その他	872,053	829,362
貸倒引当金	△249	—
投資その他の資産合計	871,804	829,362
固定資産合計	3,739,552	3,464,208
資産合計	7,015,635	6,941,170

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	771,799	993,919
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	828,571	685,714
未払法人税等	272,456	114,044
賞与引当金	11,420	31,380
前受金	98,536	101,977
その他	242,130	213,982
流動負債合計	2,324,914	2,241,019
固定負債		
長期借入金	665,000	1,129,285
退職給付引当金	37,030	30,285
役員退職慰労引当金	—	208,125
長期末払金	208,125	—
その他	113,624	62,971
固定負債合計	1,023,779	1,430,667
負債合計	3,348,693	3,671,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,400	531,400
資本剰余金	568,000	568,000
利益剰余金	2,612,524	2,203,267
自己株式	△32,160	△32,160
株主資本合計	3,679,763	3,270,506
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△12,821	△1,023
評価・換算差額等合計	△12,821	△1,023
純資産合計	3,666,941	3,269,483
負債純資産合計	7,015,635	6,941,170

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
売上高	9,709,094	10,884,799
売上原価	7,016,839	7,736,533
売上総利益	2,692,254	3,148,265
販売費及び一般管理費	2,126,423	2,313,361
営業利益	565,831	834,904
営業外収益		
受取利息	3,356	3,137
受取配当金	1	1
協賛金収入	7,073	29,079
受取手数料	11,180	4,804
その他	13,771	22,335
営業外収益合計	35,382	59,357
営業外費用		
支払利息	38,027	27,995
その他	2,400	2,437
営業外費用合計	40,428	30,432
経常利益	560,784	863,829
特別利益		
有形固定資産売却益	—	2,238
貸倒引当金戻入額	35	—
特別利益合計	35	2,238
特別損失		
有形固定資産除却損	518	417
ソフトウェア除却損	899	1,670
店舗移転損失	9,785	7,590
特別損失合計	11,203	9,679
税引前四半期純利益	549,617	856,387
法人税等	242,687	390,706
四半期純利益	306,930	465,681

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)
売上高	2,501,144	2,970,857
売上原価	1,868,935	2,083,124
売上総利益	632,208	887,733
販売費及び一般管理費	666,127	768,790
営業利益又は営業損失(△)	△33,919	118,942
営業外収益		
受取利息	760	1,007
受取配当金	1	1
受取手数料	5,011	1,606
その他	3,188	8,271
営業外収益合計	8,961	10,885
営業外費用		
支払利息	11,588	8,206
その他	750	857
営業外費用合計	12,338	9,064
経常利益又は経常損失(△)	△37,296	120,764
特別損失		
有形固定資産除却損	324	—
ソフトウェア除却損	899	—
店舗移転損失	9,785	—
特別損失合計	11,009	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△48,305	120,764
法人税等	△19,979	56,611
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,325	64,152

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	549,617	856,387
減価償却費	82,240	99,920
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,740	△19,960
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,927	6,745
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,325	△208,125
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	336
受取利息及び受取配当金	△3,357	△3,138
支払利息	38,027	27,995
有形固定資産除却損	518	417
無形固定資産除却損	899	1,670
店舗移転損失	9,785	7,590
固定資産売却損益 (△は益)	—	△2,238
売上債権の増減額 (△は増加)	△59,971	99,773
たな卸資産の増減額 (△は増加)	220,057	139,481
仕入債務の増減額 (△は減少)	△627,407	△57,246
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	208,125
その他	39,126	△3,107
小計	247,013	1,154,629
利息及び配当金の受取額	1,238	3,132
利息の支払額	△39,800	△29,509
法人税等の支払額	△333,681	△229,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125,230	898,514
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の純増減額 (△は増加)	△578	645
有形固定資産の取得による支出	△47,798	△278,322
無形固定資産の取得による支出	△3,354	△9,950
建設協力金の支払による支出	—	△58,925
敷金の差入による支出	—	△29,920
その他	28,110	55,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,620	△320,736
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△289,285	△321,428
リース債務の返済による支出	—	△12,012
配当金の支払額	△55,846	△57,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	154,867	△390,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,017	187,266
現金及び現金同等物の期首残高	269,600	411,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	275,617	599,189

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

①品種別売上高

	前第3四半期累計期間 自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日		当第3四半期累計期間 自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
タイヤ	4,940,836	50.9	5,613,184	51.6
ホイール	3,680,909	37.9	3,974,048	36.5
用品	441,294	4.6	566,868	5.2
作業料	646,053	6.6	730,698	6.7
合計	9,709,094	100.0	10,884,799	100.0

②経路別売上高

	前第3四半期累計期間 自 平成20年11月1日 至 平成21年7月30日		当第3四半期累計期間 自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
店舗売上	5,974,802	61.5	6,503,539	59.8
通販売上	2,697,219	27.8	2,931,658	26.9
業販売上	1,037,072	10.7	1,449,601	13.3
合計	9,709,094	100.0	10,884,799	100.0